

# 令和元年度青少年育成作文 優秀賞③

青少年育成推進協議会では、毎年、小・中学生を対象に作文と標語を募集しています。今年度、優秀賞に輝いた作文を紹介します。

## 「学校をより良く していくために」

南関中学校二年・嶋村 伶文



私が、南関中学に入学して一年がたちました。私は、この一年間で南関中で勉強以外にもたくさんのおもしろいことを学びました。その中で後輩に受け継いでいってほしいと思うことが三つあります。

一つ目は、サンライズ活動です。朝、七時四十五分から始まるサンライズ活動は、学校から家が遠い私にとっては少しきつくて行きたくないことがあります。でも、普段のサンライズ活動の掃除に遅れずに来て昨日よりきれいになるととてもうれいす。それに美しい学校を保っているのは

自分達だと思うと、やりがいを感じ次はもっと頑張ろうと思うことができます。掃除の他にも、テスト前にはサンライズ学習、南関中文化の日の合唱コンクール前はサンライズ合唱、リレーマラソン前はサンライズマラソンがあります。サンライズ活動があることで、クラスの仲間との親睦も深まると思います。

二つ目は、立ち止まってあいさつです。この活動は、私たちが一年生のときの生徒会の先輩が始めました。南関中のあいさつにはレベルがあります。そして、立ち止まってあいさつはレベル五になります。最初は、レベル五のあいさつをしている人は全くいませんでした。でも、今年になり新しい生徒会が朝から大きな声であいさつをしていて、だんだんレベル五のあいさつをする人が増えていきました。まだまだレベル五のあいさつの人はいませんが、これから「南関中の生徒は誰にでも大きな声で立ち止まってあいさつが

できる」と言われるように頑張りたいです。今は忘れていくことが多くあります。だけど、私と同じ陸上部の友達と自分達から広げていこうという気持ちで忘れずにあいさつを続けていきたいと思えます。

三つ目は、南関中の陸上部の中の伝統です。南関中の陸上部では、試合の前と部活動後に必ず全員で校歌を歌います。校歌を歌うことで南関中の生徒だと自覚して普段の行動でも中学生らしくできると思います。他の学校はほとんどやっていません。今までは試合の前しか歌っていませんでした。だけど今年からは部活動後にもグラウンドの方向を向いて歌うようになりました。まだ、陸上部しか歌っていないと思うので、もっと他の部活動にも広めていけるように大きな声で歌いたいです。このように三つのことを、これからも南関中の後輩たちに受け継いでいってほしいと思います。そして、私はこの三つのことを思い返しな

がら今の私たちに足りないことは何かと考えました。私のもっと頑張ったほうが良いと思うところは、積極的に何事にも行動することです。立ち止まってあいさつのことを考えていても、まずは誰かが自分から行動しないと何も起らないし、変わらないと思います。南関中の生徒は、優しい人が多くいます。荷物を持っている人がいると、近づいて声をかけたり手伝ったりします。しかし「助けないと、声をかけないと」と分かっていても勇気が出ないから動けません。心の中では思っています。心の中は思っています。でも行動に出して周りの人にも自分の気持ちを伝えられないなら、何も思っていない、人の事を考えられない人と一緒になってしまうと思います。いきなり、あまり話したこともない人に声をかけるのは難しいです。だけど毎日の授業で発表しただけ、クラスの友達と、会話をしたりすることにより、だんだん声を発することに慣れてくると思います。そして、そのような人が増えれば、今まで目立ちたくなくて積極的になれなかった人も変わっていくことができると思います。

そこで私は、自分の気持ちを表現できて、みんなが明るく楽しい学校生活を送ることができる学校にしていきたいと思えました。今はまだ不登校の生徒もいるけど、前に比べて学校に来れるようになった人もいます。私はそれは友達の手助けではないかと思いました。私は、教室に入れない理由などはわかりませんでした。でも、たくさん会って話すと、少しずつ笑顔で話しをしてくれるようになりました。いろいろな事を話せる友達がいることは大切なことです。私は南関中の生徒の優しさや良いところをもっと見つけ後輩にも伝えたいです。

私は、伝統や思い出を、この学校でもっと残していきたいと考えました。今年も中学生二年生となり後輩もできて、教えないけれども後輩にも話せるような、縦のつながりもある、仲の良い学校にしていきたいです。

## 「私の中身と生き方」

南関中学校二年・坂梨 ひなた



「つまらない人生が良い。」

私はそう思っています。特別何だということもなく、ただ人と話して学校で勉強してご飯を食べてお風呂に入って自習をしてスマホを触って寝る。そんな風に一日がいつのまにか過ぎていくのが好きだからです。遅刻をしそうだけど、朝はその音楽を聞かないと目が覚めないのか、毎日同じ歌を聞いてしまうのが私の朝のルーティーンです。何かがずれると全部ちよつとずつ日常がずれてしまうのが苦手なのです。

私の兄は、「誰にでもできるつまらない人生なんて楽しくない。もっと自分だけにできる生き方がいい。」と言います。

確かにそうだなと思います。私だって自分らしい生き方があると思います。みなさんも、自分は特別な存在ではないかと思つたことはありませんか？私がつまらない生活の中で、自分が特別な存在になつたりする事をよく考えます。私はつまらなくない、つまらない自分になりたいのでしょうか。もし将来の道を決めるとして、つまらない私はどんな道を選ぶでしょうか。安定した高収入の職業だと思えます。今の私がそうだからです。つまらない私だったらどんな道を選ぶでしょうか。きつと自分の好きな音楽の道だと思えます。私の憧れの人がそうだからと何度も夢見たことだからです。私は自分が何をしたいのかの分かります。つまらない私とつまらない私は正反対ですが、どっちにもなれます。

私が今書いているこの作文をこの内容に決めたのは、つまらない私だと思えます。思いつきとわくわくと自分らしいところが大好きなつまらない私にやりたいこともなくただの

のほんとしてつづらな私に作文を書くうえで勝つたのです。それはつまらない人生が好きで本体的私に変化できる考えを持つ自分を選んだということでしょうか。この作文を書いてみて、私の中に住んでいるつまらない私とつまらない私があることが分かりました。それはのほんとしてつづらな私に作文を書くうえで勝つたのです。それはつまらない人生が好きで本体的私に変化できる考えを持つ自分を選んだということでしょうか。

くつついでできているのではないかと感じます。みなさんはどう思いますか。私の中にはたくさん自分があります。それは良い自分でもあって悪い自分でもあります。初めはつまらない私とつまらない私があるから、どっちにもなれるということしか考えていませんでした。でも本当はそれだけじゃなく、いろいろな自分の組み合わせがあるから、私が望む私にだけなれることが分かりました。

私だけじゃなく周りのみんなも組み合わせが違ってその人だけの性格や人柄ができていて、血がながっていても関係なく性格が違うので、人間として不思議で奥が深くてももしろい生き物だと思いました。